

・ 玄 ま ち 第 2 6 2 号
平成 2 0 年 1 0 月 1 7 日

国土交通省道路局長 様

玄海町長 岸 本 英 雄



今後の道路行政についての意見・提案について(回答)

平成 2 0 年 9 月 1 9 日付け 国道企第 3 7 号で依頼のあった標記のこのこと
については、別紙のとおり提出します。

②-1地域の現状と抱える課題

佐賀県玄海町

◆地方にとっての移動手段としては、自動車というのは必要不可欠であります。オーバーな言い方ではなく、一人に1台所有していると言っても過言ではありません。そんな中、道路の整備が遅れているというのも現状であります。

わが町、玄海町は国策であります原子力発電所を誘致した町として、住民から、緊急避難用道路整備について強く要望されております。県や国に対して要望しますが、なかなか実現しないというのが現状であります。

全国の原子力発電所立地(稼働中)21市町の中でも、1か2番目に道路の整備が遅れている町だと思っております。

地域の現状を理解されまして、住民の安全・安心を確保する目的を達成するためにも、道路整備の実現をお願いしたい。

③道路施策の充填事項(代表事例、期待する効果や評価等)

佐賀県玄海町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・物流と観光の融合	・周遊ルートの確立により、人と人の交流や地元産品の販売促進及び運搬による荷痛みの解消と運搬コストの縮減 (九州大学との共同研究による薬草栽培施設、次世代エネルギーパーク、発想館(物産販売及び食品加工所)、浜野浦棚田等々)	